

努力から逃げていませんか



倉田豊治(くらた・とよじ) ㈱サンユウ専務取締役。オリックスに4年、日本興亜損保に10年間営業マンとして勤務後、99年サンユウ創業。当初は本当に売れない日々で連続で、2月の-2℃の中寒さで死にそうになったり、カードローン地獄も経験する。オール電化普及で次第に売れはじめ三菱電機・東芝などの関東地区販売実績で度々第1位を獲得。最近では文化放送・ニッポン放送などのマスコミにも出演。FMで毎週火曜日にビジネス番組も持つ。日経ホームビルダーなどの取材も受ける。現在、自身の経験を元に「いくつかのルールを守るだけで凡人でも短期間でダントツの成果を上げる営業ノウハウ」をテーマにビジネス塾を主催講演中。



クマに遭遇したら、どうしますか?

今回お伝えしたいテーマは「努力することから逃げていませんか」という内容です。ここで一つ、皆さまに質問したいと思います。山にピクニックに出かけたときに、偶然、クマに遭遇してしまいました。あなたならどのような行動をとりますか。少し考えてみてください。

答えは、おおよそ次の3つに絞られるのではないのでしょうか。

- ① 逃げる。とにかくクマに襲われる危機から逃れようと、遠くに離れる。
- ② 戦う。近くにある棒などを見つけて、それを武器にしてクマと戦って追い払う。
- ③ 硬直する。クマと遭遇した驚きのあまり、呆然として硬直してしまう。

皆さまはこの3つのうち、どれを選択しましたか。絶対にやってはいけないのは③の硬直するですね。黙っていたら、クマに襲われて死んでしまいます。ですから①の逃げるか、②の戦うのどちらかかたしょう。しかし人間は案外、危機に直面すると、③の硬直してしまうケースが少なくありません。

実際の地域店の経営でクマに遭遇することはないですが、それに匹敵するほどの大変な困難を経験することはあります。実際に、私どもの取引先でもこんな事例があり

ました。

設備系の会社を営んでいる3代目の社長さんです。3年前の東日本大震災のとき、われわれの会社もそうでしたが売れ上がりが落ちました。仕事のない日が続き、このままでは銀行に借金の返済ができなくなってしまおう状況に追い込まれたそうです。

そのときに、その社長は何をしたかというところ、①の逃げるを選択しました。とにかく今の危機的な状況から逃げるという選択をしたのです。具体的には、現地のボランティア活動に従事するという行動に走ったのです。

やってはいけないタイミング

ここで私は、ボランティアをすることがいいとか悪いということを言うつもりはありません。本当に現地で困っている方への手伝いをしに行くということは、素晴らしい行動です。

ですが、そこには「私は今、ボランティアをされていて、とても忙しいんだ」という心理が働いていないかということです。自分の会社の経営は、今すぐに解決しなければならない危機が山積しているのに、その現実から目を背けていませんか。

私はそれこそが問題だと言いたいです。決してボランティアが悪いということではなく、自分自身も危機的な状況に追い込まれているのに、その問題を棚上げしてし

図1 クマに遭遇したときの行動

- ① 逃げる。とにかくクマに襲われる危機から逃れようと、遠くに離れる
- ② 戦う。近くにある棒などを見つけて、それを武器にしてクマと戦って追い払う
- ③ 硬直する。クマと遭遇した驚きのあまり、呆然として硬直してしまう

まっていることに問題があるのです。

仕事が減って売れ上がりが減っている中、銀行からの借入金を返済しなければならぬし、社員に給料を支払わなければなりません。この現実からなぜ逃げるのでしょうか。

社員もある意味では経営者を試しています。「社長、それはやっちゃいけないでしょう」という場面で、やってしまったわけです。ボランティアが悪いのではなく、その社長がボランティアをするタイミングが悪かったということです。

クマと遭遇したときに、先ほどは逃げるか、戦うしかない指摘しましたが、ある意味で硬直することも、ケースによってはありかもしれません。逃げるのも、戦うのも、硬直するのも戦略として使えるかもしれません。問題は、それをやってはいけないタイミングや場面があるということです。

本人はどうかといえば「俺は一生懸命にやっている。寝袋持って現場に軽トラで駆けつけた」と話していました。確かに一生懸命なのは分かりますが、現実から逃げていないでしょうか。自分で努力することから逃げていないでしょうか。

社長がすべきことは、まずは仕事をつかって売れ上げを増やすように努力する。銀行の借入金を繰り延べしてもらえないように、銀行と交渉する。社員に給料を支払う

図2 経営の危機に直面したとき

- ① 仕事に優先順位をつけて順番に片づける(自分では一生懸命やっていると思っていても、手掛ける順番が間違っていることがある)
- ② 仕事をつかって売り上げを増やす
- ③ 借入金の繰り延べを交渉する

ために、売れるもの売ることで。

自分の会社をしっかりと立て直して安定させてから、ボランティアに行けばいいじゃないですか。

逃げても解決しない

私も、こういう大変なことがなかったかといえども何度も経験しました。しかも、経営に関わる重大なことは、同時に複数起きることが結構あります。そういうときに、この仕事をしているから、こっちを一生懸命に取り組んでいるからといって逃げてはいけません。優先順位の高い仕事から次々と片づけることが大切です。

私も取引先の社長からアドバイスがほしいと言われれば訪問しますが、このような性格もあってか、社長にとって耳の痛いことも言ってしまいます。そうしたときに、耳をふさいだり、つらいことから逃げようとする社長も少なくありません。逃げることで問題が解決すればいいのですが、実際にそんなことはありません。

自分の会社の経営なので、逃げることで解決されることなどありません。その会社の業務の方も言っていました。社長はいつも大事なときに逃げるんですよ。悲しいですよ。痛いことやつらいことに正面から立ち向かっていかなければならないときもあるのです。